



通算才114号

1965~1966-6-8

函館北ロータリークラブ

第101回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

本日のプログラム

卓話 北クラブの創立記念日に因んで、函館東RC 富田 恭氏

卓話 "奇遇談" 俣野純夫君

世の中は広いようで狭いものです。私が出あつた「奇遇」のお話をします。まづ私が昭和16年軍医として召集され、ハルビンに行きました時に、そこでも湯の川に居た五郎という芸者にあいました。

次に話とはびますが、先日早朝のラジオの「地方だより」のアナウンサーの声が聞き覚えがあると思ひましたら、数年前函館放送局に居られて御世話になつた矢田氏で、はからずも声で御無事を知りました。

昭和19年3月にモンゴル国境のハロンアルシオンに派遣され、4日もかかつてガラ空きの汽車で大興安嶺をこえて行きました。

ここには温泉がいくつもあり、その名も「鹿の湯」といふのがありました。

ここで出迎えてくれた在郷軍人会長が額の火傷のあとで見覚えのある郷里の中学の2年先輩の牧という方で、早速その夜御宅で御世話になりました。

この部隊は南方へ転じたあとで人数も少く、部隊の身体検査に行つた時副官の少尉が鱧の燻製を御馳走してくれました。

珍らしいのできいて見ると、私の函館高等水産の校医時代の学生でした。

更に陸軍病院に申告に行くと、院長が以前函館の重砲大隊の軍医で、その縁で数日この病院で診療をやり、腰椎穿刺で名声を博したりしました。

いよいよ帰還する時コロ島で入港して来たのが鹿児島から来た駆逐艦で、郷里の状況など知ることが出来、一安心しました。

LST船に医療班長として乗船した所、船医が居ないので代理をすることになり、久しぶりで鯛の塩焼にありつきました。それはこの船の司厨長が宇賀浦の出身の人だつた為で、函館の様子も聞くことが出来、更に安心しました。

最後に船が山口県仙崎に入つた時、検疫官が先月まで函館検疫所に居たという事で、検疫も適当にしてもらい早々に上陸出来た次第でした。

追加発表 堀 教馬君

只今の俣野先生のお話は遠い満洲での事でしたが私の奇遇は当クラブが舞台です。

私は昨年の3月に入会させて頂き、その7月に恵山で家族会があつた時宴たけなわの頃青柳会員が私に向つて「君はどこかで会つた事がある。」と言ひ出しました。

私には少しも覚えがありませんでしたが、色々話し合つてみましたらなんと30年以上も会はずなかつた東京の中学の同級生で、お互におどろきました。

次回(6月16日)のプログラム

卓話 「函館北クラブの創立記念日に因んで」

函館東R.C. 富田 恭君

司会 遠藤会長 斉 唱 手に手つないで

ビジター 佐藤平吉君(酒田R.C. 酒造業)

岡田小治君(士別R.C. 酒類販売)

西野第二君他7名(函館) 安田幸夫君他5名(函館東)

会長挨拶

100回例会を記念して出席100%をやりたかつたが、御病気の会員が出て惜しくも達成出来ませんでした。昨年4月号の「ロータリーの友」に、従来最低の出席率であつた藤岡R.C.が月間100%の快挙をやり、355地区吉野ガバナーに「成せば成る」と言わしめた記事がのつていました。当クラブは最近非常に出席が良くなつて来ているので、無理に「成さ」ずとも、やがて自然に100%出席が達成出来るであろうと思つています。

幹事報告

クラブ創立2周年を記念して、16日午後5時30分より「入川」でクラブアツゼンブリー及び懇親会を行ないます。奮つて御参加下さい。

会員卓話 北海道の農業、飯田 神生君

1. 自然条件 本道の面積は790万haで、我が国総面積の21%を占める気候は温帯の北限にあり、冬は大陸の寒冷な北西季節風が吹き、夏は北大平洋の温暖な南東季節風が流入し、寒暑の差が著しい。農牧適地は330万haあり、そのうち3割は普通土として生産力が高いが、他は所謂特殊土壤で、最も多いのが火山灰土、次いで重粘土、泥炭土である。地形的には畑地の50%は傾斜地で、今後の開発によりその利用が増大されよう。

2. 耕地面積 本道農業は165万haを経営用地として利用しているが、実際の耕地面積は水田24万ha 畑72万5千haで、最近水田が増加し、畑が減少の傾向にある。耕地率は21%で全国平均より5%低い。

3. 農家戸数 21万戸で本道総戸数の20%を占めるが、昭和30年より約11%減少している。経営規模別では3~5haの階層が最も多く、又専業





本日のプログラム 映画 交通事故

- 司会 遠藤会長
斉唱 '奉仕の理想'
ビジター 佐藤昌君(森R.C.海産商)
五十嵐長寿君他9名(函館) 釣谷尚君他7名(函館東)

- 幹事報告
1. 当クラブで援助した市教委主催の「巣立つ青少年の教養講座」の「受講生感想文集」が来ておりますので回覧します。
2. 嵯峨ガバナーより地区協議会の出席要請状が来ました。
3. 明日のアツセンブリーには是非多数の出席をお願いします。
4. 湯沢南仮R.C. 5月14日に設立。

- 飯田国際奉仕委員長
350地区ガバナーエレクト岡田正雄氏より、ニューヨーク州レーク・プラシット・クラブで開催中のロータリー国際協議会場から挨拶状が参りました。
リチャード・エル・エバンス次期会長の今年度目標十項目が書かれています。
1) 新会員の加入 2) 新クラブの結成 3) 親睦を楽しもう 4) 社会の必要とするものを発見してそれに奉仕しよう 5) 君の職業上の関係者をより良くしよう 6) 青少年奉仕 7) 効果的な広報活動 8) ロータリーの国際性を強調 9) 国際社会奉仕 10) ロータリーの奨学資金への援助

卓話 '北クラブの創立記念日に因んで'
函館東R.C. (元特別代表) 富田恭氏

昭和39年6月16日に仮クラブを結成し、10月19日に承認され、明日創立3周年記念日を迎えることになりました。初代会長の新さんは、与えられた地域はニューフロンティアである、バイオニアスピリットで地域を開発したいとの抱負を述べられました。又最初は出席率が悪く、寿原ガバナーから再三御注意がありましたが、当時遠藤副会長は、3年間は止むを得ない長い目で見てほしいと答えておりました。然し最近では96%出席の声がきかれるように

農家が50%以上あり、全国平均の20%を遙かに上回る。

- 4. 農業形態 山脈を境に、又どの海に面するかで次の5地区に区分する。
イ オホーツク海斜面 冬、春は流水が来て甚だ寒く、夏は涼しい。麦類、豆、ビート、馬鈴薯 飼料作物の栽培が多い。
ロ 日本海斜面 本道稲作の70%を占め、又雑穀、ビート、馬鈴薯の作付も多く、北部には畜産が発達している。
ハ 太平洋斜面東部 沿岸平原は秋、冬は寒く、春、夏は海霧で日照不足となり牧畜を主とする。帯広は内陸性気候で豆、ビート、馬鈴薯に適する。
ニ 太平洋斜面西部 対馬暖流の影響で暖かく、牧草栽培が多い。
ホ 渡島半島 暖流の影響で暖かく、水稻、果樹、野菜に適する。
5. 農業生産の状況 米は全国一である。畑作では菜豆類、馬鈴薯、大豆、ビートが本道の特産物である。飼料作物面積も増加した。又家畜では豊富な草資源を活用して乳牛が増加し、馬は機械化の影響で漸減している。
6. 肥料の消費動向 本道の耕地面積は全国の15%であるが、肥料消費量は10%で単位面積消費量は少ない。又単肥(42万2千吨)が減少し、複合肥料(23万4千吨)中の高度化成が伸びている。流通経路としては、メーカー→全購連→県連(北連)→農協→農家の「系統」と、メーカー→ディーラー→特約店→二次特約店→農家の「商系」がある。
7. 要約すると 自然条件にあまり恵まれない本道で、イ) 水稻が日本一の生産量をあげている ロ) 火山灰地帯、傾斜地の開発が期待出来る ハ) 耕地面積が開発庁才2期計画により45年度には130万haに増加する ニ) 農家戸数の減少は機械化により合理化されている ホ) 農業形態の改良、特に畜産機械等営農装備の充実 ヘ) 畜産重点のための草地造成の促進 ト) 肥料の高成分の化成を使用することによる省力栽培 チ) 農薬による単位収量増加及び除草等の省力化、等いろいろ将来に明るい面がある。
何れにせよ、道庁、北海道開発庁、各支庁、国立試験場、道立試験場、各関係大学、農業高校を始め、系統、商系の流通機構、並びに一般道民の御理解のもとに、農産物の生産拡大と経営規模拡大をはかることが望ましい。

出席報告

- 1. 本日 会員数31名 出席24名
2. 前回の確定出席率 96.72% (当日出席23名、他ク出席7名)
3. 5月の平均出席率 89.52%

Table with 2 columns: 参考 (函館ククラブ, 函館東ククラブ) and 出席率 (前回, 月間)